

第 127 回 学長定例記者会見

日時：令和2年 11 月 26 日（木）11：30～12：00

場所：広島大学 霞キャンパス 広仁会館 1 階 中会議室

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 2020 年度 第 4 タームの授業等の実施について
2. 広島大学病院アレルギーセンターが WAO Centers of Excellence に認定されました
3. 「ウエストエネルギーソリューション・広島大学ソーラーシェアリング共同研究講座」の設置について

【お知らせ事項】

1. 「2020 年ノーベル賞解説講演会」を開催します
2. 第 72 回全日本大学バスケットボール選手権大会へのアベック出場決定
3. 大学院人間社会科学研究科 馬場卓也教授が「JICA 理事長賞」を受賞しました

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和2年 12 月下旬

場所： 広島大学 東広島キャンパス

令和 2 年 11 月 26 日

2020 年度第 4 タームの授業等の実施について

広島大学では、10 月 1 日以降「新型コロナウイルス感染拡大防止のための広島大学の行動指針」をレベル 1 に変更し、「新しい生活様式」による感染防止行動の遵守を前提として、対面による教育研究活動を拡大してきました。

第 3 ターム（～11 月 30 日（月））については、学部 1 年生対象の専門科目 117 科目、大学院の授業 1,296 科目、受講者 20 人以下の科目 322 科目、実技を伴う実験・実習等の科目 397 科目、合計 2,132 科目で対面による活動を導入しました。これらの科目に加えて、ゼミ等研究指導の要素を含む科目についても、対面で実施しています。

第 4 ターム（12 月 1 日（火）～）の授業では、学部 1 年生がキャンパスで活動する機会をさらに拡大するため、教養教育科目を原則として対面で行うこととします。各学部の専門教育科目についても、これまで同様に十分な感染拡大防止策をとりつつ、対面授業を増やす方向で検討しています。オンラインの利点も活かしながら、次のように実施していく予定です。

- ・対面授業の映像・音声をリアルタイムで他の教室等にオンライン配信
- ・対面授業の映像・音声を記録し、オンデマンドで配信
- ・受講生を 2 グループに分け、隔週で交互に対面授業を実施 等

※ 今後の新型コロナウイルス感染の状況等によっては、上記の予定を変更することがあります。

【お問い合わせ先】

教育室教育部教育推進グループ 景山
TEL：082-424-6156 FAX：082-424-6170

令和 2 年 11 月 26 日

広島大学病院アレルギーセンターが WAO Centers of Excellence に認定されました

令和 2 年 11 月に、広島大学病院アレルギーセンター（センター長：秀 道広・皮膚科教授）が世界アレルギー機構（The World Allergy Organization：WAO）の指定する WAO Centers of Excellence に認定されました。

WAO Centers of Excellence は、アレルギー疾患と免疫疾患に関して卓越した教育、研究、トレーニングを実践し、提供している施設が認定され、アジアでは 6 施設、日本では広島大学病院、国立成育医療研究センター、国立病院機構相模原病院の 3 施設が認定されています（令和 2 年 11 月 12 日現在）。

広島大学病院は、広島県のアレルギー疾患治療拠点病院として広島県のアレルギー疾患対策と診療において中心的な役割を果たすと同時に、アレルギー疾患に関する研究の成果を世界に発信してきました。今回の WAO Centers of Excellence に認定によって、広島大学病院の果たすべき役割はさらに大きなものになります。

ウェブサイト

<https://www.worldallergy.org/wao-centers-of-excellence/asia-pacific/hiroshima-japan-2020>

【お問い合わせ先】

広島大学大学院医系科学研究科 皮膚科学
TEL: 082-257-5238
秀 道広 ed1h-w1de-road@hiroshima-u.ac.jp
田中暁生 akiotan@hiroshima-u.ac.jp

令和 2 年 11 月 26 日

「ウエストエネルギーソリューション・広島大学 ソーラーシェアリング共同研究講座」の設置について

広島大学（学長：越智 光夫）と株式会社ウエストエネルギーソリューション（代表取締役社長：江頭 栄一郎）は、令和 2 年 10 月 1 日付けで、「ウエストエネルギーソリューション・広島大学ソーラーシェアリング共同研究講座」を設置しました。

＜設置期間：令和 2 年 10 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日（2 年間）＞

農業用地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置する営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）システムは、農地の利用促進を図るとともに、SDGs に貢献するスマート農業の一つとして期待されています。

また、農作物の販売収入に加え、売電による収入や発電電力の自家利用等により農業経営の改善、地域の活性化や再生可能エネルギーの導入による環境と調和した農業経営が可能となります。

本共同研究講座では、ソーラーシェアリングに適した農作物の選抜と、営農型太陽光発電による高収益農業システムの構築を行うことを目的とします。

◆株式会社ウエストエネルギーソリューション 企業概要（参考）

【企業名】：株式会社ウエストエネルギーソリューション
【親会社】：株式会社ウエストホールディングス
【代表者名】：代表取締役社長 江頭栄一郎
【設立】：1981 年 10 月 1 日
【資本金】：20 億 2091 万円(2019 年 3 月末現在)
【従業員数】：445 人(2019 年 3 月末現在)
【事業内容】：太陽光発電設備企画、設置、販売・その他事業
【会社HP】： <https://www.west-gr.co.jp/about/company/energysolution/>

【お問い合わせ先】

広島大学大学院統合生命科学研究科
教授 実岡 寛文
TEL/ FAX 082-424-7917
E-mail: saneoka@hiroshima-u.ac.jp
准教授 長岡 俊徳
TEL/ FAX 082-424-7969
E-mail: tnagaok@hiroshima-u.ac.jp

「ウエストエネルギーソリューション・ 広島大学ソーラーシェアリング共同研究講座



植え付け前のトラクターによる耕起



夏ナスの栽培



ハクサイと長ネギの栽培



令和 2 年 11 月 26 日

「2020 年ノーベル賞解説講演会」を開催します

広島大学理学部附属理学融合教育研究センターでは、一般の方、学生、教職員を対象として、2020 年ノーベル物理学賞およびノーベル化学賞についての解説講演会を開催することといたしました。

今年のノーベル物理学賞は、ブラックホールに関連して研究者の 3 人が受賞しました。ロジャー・ペンローズ氏は、アインシュタイン自身もその存在を信じていなかったブラックホールが一般相対性理論の直接の帰結であることを証明しました。ラインハルト・ゲンツェル氏とアンドレア・ゲッズ氏は、私たちの銀河系の中心に太陽のおよそ 400 万倍の質量の超巨大ブラックホールが存在することを明らかにしました。

ノーベル化学賞は、エマニュエル・シャルパンティエ女史とジェニファー・ダウドナ女史が受賞しました。2 人は「CRISPR-Cas9」（クリスパー・キャスナイン）と呼ばれるゲノム編集の画期的な手法を開発しました。簡単でより自在に遺伝情報を書き換えることができることから、すでに作物の品種改良やがんの新しい治療法の開発、新型コロナウイルスの研究に用いられています。

当講演会は、オンラインによる開催となっており、参加費は無料です。是非お申込みください。

【お問い合わせ先】

広島大学理学部附属理学融合教育研究センター
Tel：082-424-4384
E-mail：ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp

オンラインによる開催決定！

2020年ノーベル賞解説講演会

日時 12月12日(土) 13:00～17:00(予定)

方法 オンラインによる配信

参加費
無料!!

題目・講師



「ペンローズの数学」
木村 俊一 教授
(広島大学先進理工系科学研究科数学プログラム)



「ペンローズのブラックホール物理学の偉業」
小鳶 康史 教授
(広島大学先進理工系科学研究科物理学プログラム)



「ゲノム編集とはなにか」
山本 卓 教授
(広島大学統合生命科学研究科数理生命科学プログラム)



「物理学賞『銀河系の中心にある
巨大ブラックホールの発見』の解説」
植村 誠 准教授
(広島大学宇宙科学センター)



講演終了後 質問コーナー

お申し込み 申込締切: 12/11(金) 12:00

右のQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rigakuyugo/news/60918>
講演会に参加するための情報を折り返しご連絡します。



お問い合わせ

広島大学理学部附属理学融合教育研究センター

Tel: 082-424-4384 / Email: ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp

主催 / 共催

主催 広島大学理学部附属理学融合教育研究センター
共催 広島市こども文化科学館
極限宇宙研究拠点CORE-U
ゲノム編集イノベーションセンター



令和 2 年 11 月 26 日

第 72 回全日本大学バスケットボール選手権大会への
アベック出場決定

9 月 26 日と 27 日に岡山県の水島緑地福田公園体育館において、第 72 回全日本大学バスケットボール選手権大会中国地区予選会が行われました。

その結果、広島大学体育会男子バスケットボール部及び広島大学体育会女子バスケットボール部は、12 月 7 日（月）から 12 月 13 日（日）まで国立代々木競技場第二体育館等で開催される第 72 回全日本大学バスケットボール選手権大会への出場権をアベックで得ました。

なお、今回で男子バスケットボール部は 26 回目、女子バスケットボール部は 39 回目の出場となり、アベック出場は 15 回目となりました。

【お問い合わせ先】

教育学系総括支援室 永富 由佳
TEL:082-424-4684 FAX:082-424-3478



令和 2 年 11 月 26 日

大学院人間社会科学研究科 馬場卓也教授が
「JICA 理事長賞」を受賞しました

広島大学大学院人間社会科学研究科 馬場卓也教授が「第 16 回 JICA 理事長賞」を 2020 年 10 月 15 日に受賞しました。

「JICA 理事長賞」は、国際協力事業を通じて開発途上国の人材育成や社会経済発展に多大な貢献をされた個人・団体に対し、その功績をたたえ、独立行政法人国際協力機構（JICA）が表彰するものです。

馬場教授の受賞は主に、過去 20 年以上にわたってのアジア、アフリカ地域における国際教育協力活動、青年海外協力隊としての活動を組み入れた修士課程プログラムの構想・展開、開発途上国からの留学生受入推進に加え、学生への指導を通じた開発途上国の中核人材や日本の国際協力人材の育成によるものです。

また、馬場教授の指導のもと、広島大学大学院国際協力研究科で修士号を取得し、現在、ザンビア一般教育省国立科学センター長を務めるベンソン・バンダ氏も、日本での学びをもとに同国で授業研究の全国展開や制度化に取り組んだことが高く評価され、今回、JICA 理事長賞を受賞しました。

なお、広島大学は、過去に団体として 2007 年度に JICA 理事長賞を受賞しており、個人としては 2004 年度に林武広教授、2006 年度に武村重和教授が受賞してきています。

【お問い合わせ先】

広島大学大学院人間社会科学研究科
国際教育開発プログラム 丸山
TEL:082-424-4573（国際協力学系支援室）
Email: tmaru*hiroshima-u.ac.jp
メール送信の際は*を@として送付ください。